

## 第18回「学びながらのウォーキング」大会

と き 令和元年11月24日(日)

ところ 講演会：萩セミナーハウス

ウォーキング：萩城付近

[報告：山口県医師国民健康保険組合常務理事 沖中 芳彦]

令和元年11月24日(日)に、山口県医師国民健康保険組合の保健事業「学びながらのウォーキング」大会を開催した。前回のウォーキングは下関市彦島のコースであったが、今回は萩市内にコースを設定した。平成18年(第5回)にも萩市で開催したが、前回とは少しコースを変え、より歴史を感じてもらおうと、萩城付近をウォーキングすることとした。

さて、例年と同じく、山口市(総合保健会館)に集合する方々、及び萩市に直接集合する方々の2か所に集合場所を設置し、山口市集合者は大型バスで目的地に向かった。

大会では、主催者挨拶後、「長州と会津の友好を考える会」代表でもある、(医)山本内科胃腸科理事長の山本貞壽先生に「江戸の旅人といわれた吉田松陰先生～長崎から青森まで～」と題してご講演いただいた。

講演会終了後、ウォーキング指導者として、健康運動指導員の経歴をお持ちの恵美須勝美さんから、ウォーキングの効用・注意事項をご説明いただき、入念な準備体操を行ってウォーキングスタート。

講演会場となった萩セミナーハウスは、国の伝統的建造物群保存地区制度が始まった昭和51年(1976年)、全国で最初の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された堀内地区内にあり、ウォーキング開始時から、その歴史的景観を堪能することができた。そして、菊ヶ浜に抜け、萩城跡内堀を右手に見ながら石堀公園に向かった。

公園内には石の作品が並び、その中をぐるっと一周して昼食。当日は朝から小雨とともに強い風が吹いていたため食事が心配であったが、大会開始直前に雨は止み、また、公園は防風林に囲まれていたため、予想外に寒くもなく、ゆったりと昼





食をとることができた。

食事を終え、午後のウォーキングを開始し、再度、堀内地区に入った。

城下町の武家屋敷及び地割が今も残り、歴史的風致を形成している。また、あちこちの土堀越しに見える、黄色く色付き始めた夏みかんは萩の名産で、収穫時期が4月中旬～6月頃ではあるが、既にずっしりと大きく育っており、秋に色づく木々の中で存在感を見せていた。

さて、口羽家住宅、堀内鍵曲を通った後、堀内地区を抜けて平安橋を渡り、平安古の松原に向かった。ここからは、春であれば遊覧船で眺める桜が名所となっている橋本川に沿って進み、平安古鍵曲へと向かった。すぐ近くのかんきつ公園を折り返し地点とし、久坂玄瑞誕生地を經由して堀内地区内に戻り、春日神社に進んだ。そして、萩博物館に隣接する第26代内閣総理大臣の田中義一像を見上げながら歩き進み、萩セミナーハウス

へと戻った。しっかりとクーリングダウンを行って、ウォーキング大会は終了。

これまでのウォーキング大会は、山または海沿いのコースがほとんどであるが、今回は、ほぼ城下町内のコースであった。狭い道を一列で歩くことも多く、すれ違う車や自転車で十分気をつけながらのウォーキングではあったものの、旧跡、旧宅の白壁・なまこ壁などの景観を含め、存分に歴史を味わえるコースであった。

また、前回、萩で開催したときは、午後に天気急変し、過去一番の土砂降りになったと聞いていたため、当日朝の天気ではコースの短縮等、予定変更を心配していたが、なんとか持ちこたえた。ほぼ曇り空ではあったものの、ウォーキングするには快適な一日であったため、参加者には十分楽しんでいただけたのではないかと思います。

# かなえたい 未来がある。

応援してください。  
やまぎんも、私も。

石川 佳純

Yamaguchi  
Financial Group

山口銀行  
YAMAGUCHI BANK